【基礎分野】　　【作業療法学科】

科目名	心理学						
担当講師	山崎　剛信						
実務経験の概要							
履修年次	1	単位数	2	時間数	30	開講時期	後期
授業形態	講義						

授業概要

心の科学である心理学の基礎を学ぶ。感覚・知覚・記憶、動機づけ、パーソナリティ、集団の性質などを、医療現場で起こりうる問題とも関連付けながら学び、人間行動を深く理解できるようにする。

学修到達目標

心理学の基礎を学ぶことで、医療現場で展開される個人、集団の心の働き・行動について深い理解が出来るようになり、そこで生じる様々な問題の解決を行えるようになることを目指す。

授　業　計　画

第1回	感覚
第2回	知覚
第3回	記憶
第4回	学習
第5回	感情・動機
第6回	パーソナリティ
第7回	知能
第8回	対人コミュニケーションの心理
第9回	社会・組織・集団（１）
第10回	社会・組織・集団（２）
第11回	ストレスと健康（１）
第12回	ストレスと健康（２）
第13回	患者の理解
第14回	医療職者の理解
第15回	まとめ

評価方法

期末試験（５０％）、レポート（５０％）

教科書

なし

参考図書･文献

授業中適宜紹介する

履修上の留意点及び講義時間外の学習(予習・復習)

授業は日常で起こることを題材にする。普段から人間に関心を持ち、よく観察すること、書物や映画、音楽などから人間について知ることも大切である。特に大量の読書を期待する。

【基礎分野】　　【作業療法学科】

科目名	教育学						
担当講師	武田　晃二						
実務経験の概要	国立大学法人岩手大学で34年間、また退職後複数の専門学校で「教育学」を担当						
履修年次	1	単位数	2	時間数	30	開講時期	前期
授業形態	講義						

授業概要

自著『普通教育とは何か－憲法にもとづく教育とは何か』（地歴社）をテキストに用い、講義および演習形式で行う

学修到達目標

講義の中でしばしばグループ学習等を取り入れ、単なる意見交換にとどまらず、相手の発言内容を理解し、自分の意見を対置させ、お互いの議論を高め合うよう促している

授　業　計　画

第1回	なぜリハビリテーション学院で教育学の履修が必要なのか
第2回	普通教育論を講義する理由
第3回	普通教育とは
第4回	「人間を人間として育てる」の意味
第5回	「人間の育成」か「国民の育成」か
第6回	「人間」は段階を経て育成される
第7回	普通教育の目標
第8回	教育課程
第9回	学習指導要領
第10回	「ゆとり」政策とは
第11回	「いじめ」の原因
第12回	学び合い授業の意義
第13回	社会の変化と普通教育
第14回	医療系分野と普通教育
第15回	まとめとレポート課題の提示

評価方法

レポート（100％）：提起したレポートの内容に基づいて評価する

教科書

『普通教育とは何か－憲法にもとづく教育とは何か』（地歴社）

参考図書･文献

特になし

履修上の留意点及び講義時間外の学習(予習・復習)

講義において、また講義外における学生同士の討論を期待している

【基礎分野】　　【作業療法学科】

科目名	コミュケーション論						
担当講師	細越　友貴						
実務経験の概要	：作業療法士。医療施設、精神領域施設において実務経験を有する。						
履修年次	1	単位数	1	時間数	30	開講時期	後期
授業形態	講義　グループワーク						

授業概要

相手に自身の考えやメッセージの伝え方などのコミュニケーション
また、人間関係がどのように成立し維持されるのかといったについて学びます。そのために自己理解を深めコミュニケーションの知識、技法を学びます。

学修到達目標

1．人間関係におけるコミュウニケーションの意義、基礎知識について説明することができる。
2．自己を理解の上で相手を尊重し互いに理解する必要性を説明できる。
3．自己成長のための振り返りを通し、自身の考えを表現することができる。

授　業　計　画

第1回	講義のガイダンス　グループワーク演習の説明
第2回	コミュニケーションについて
第3回	自己理解と他者理解について
第4回	集団の特性について
第5回	人間関係について
第6回	人間関係の成立、維持、崩壊について
第7回	アサーションについて
第8回	ストレスについて
第9回	援助的態度とコミュニケーション技法について
第10回	援助的コミュニケーション技法の実践
第11回	臨床におけるコミュニケーション
第12回	電話のかけ方、手紙の書き方からコミュニケーションについて学ぶ
第13回	フィッシュ哲学について
第14回	現代におけるメディアリテラシーについて
第15回	まとめ

評価方法

期末試験60%　小テスト20%　課題取り組み20%

教科書

特になし

参考図書･文献

配布資料

履修上の留意点及び講義時間外の学習(予習・復習)

グループワークの形式について提示する。互いに学習者である態度のもと意見を尊重し、グループワークをすすめること。
自己成長につながるように講義内容を確実に復習し、グループワークに反映させること。

【基礎分野】　　【作業療法学科】

科目名	物理学						
担当講師	佐藤　英一						
実務経験の概要							
履修年次	1	単位数	1	時間数	15	開講時期	前期
授業形態	講義						

授業概要

物理学は難しいと思われがちであるが、医療業務において物理学に関連する知識は必要である。たとえばX線の発見は人体の透視という画期的な診断法をもたらした。このように医療技術の原理は物理学に基づいていることが多い。よって本科目では、医療に役立つ医学物理の基本概念を修得する。

学修到達目標

1. 距離、速度、加速度の関係を式で表し、説明できる。
2. 簡単な流体力学を式を用いて説明できる。
3. 熱力学の諸法則を式を用いて表し、解説できる。
4. 音の波長、速度、振動数を式で表し、説明できる。
5. 簡単な直流回路と交流回路を図示し、電圧、電流、抵抗、インピーダンスなどを計算できる。
6. α・β・γ・X線、放射線量の単位などを説明できる。

授　業　計　画

第1回　単位系と物体の運動
第2回　力と加速度
第3回　仕事とエネルギー
第4回　流体
第5回　熱
第6回　波動
第7回　電気と磁気
第8回　放射線

評価方法

期末試験を行い、その点数を評点とする。

教科書

系統看護学講座　物理学　医学書院

参考図書･文献

医歯系の物理学　東京教学社

履修上の留意点及び講義時間外の学習(予習・復習)

講義前にシラバスにある講義内容を調べ、次のURLから資料をダウンロードし、可能な限り事前学修を行う。
http://raysinc.jp/e-learning.pdf

【基礎分野】　　【作業療法学科】

科目名	化学						
担当講師	中島　理						
実務経験の概要							
履修年次	1	単位数	1	時間数	15	開講時期	前期
授業形態	講義						

授業概要

化学は物質の構造、性質、変化等を直接取り扱う学問である。
本講義では化学の基本的な概念、原理、法則等を理解すると同時に、物質の化学的性質を理解する。

学修到達目標

1．化学変化を化学反応式で表現できる。
2．物質量の概念を理解し、化学計算ができる。
3．化学結合の種類と、その相違点について説明できる。
4．酸・塩基の定義について説明できる。
5．化学平衡の定義について説明できる。
6．基本的な有機化合物の構造、性質について説明できる。

授　業　計　画

第1回　化学の歴史と化学を学修する意義
第2回　物質の構成と化学式(組成式、分子式、示性式、構造式)
第3回　化学反応と物質量(原子量、分子量、式量)
第4回　化学反応と化学量論(化学式、化学反応式)
第5回　化学結合(イオン結合、共有結合、金属結合)
第6回　酸と塩基
第7回　電離平衡
第8回　有機化合物

評価方法

定期試験の結果および講義の受講態度により総合的に評価する。

教科書

配布プリント

参考図書･文献

新しい高校化学の教科書　-現代人のための高校理科-　左巻健男　講談社

履修上の留意点及び講義時間外の学習(予習・復習)

専門教科を学ぶ上で基礎となる「化学」の基本事項を身につけることを目標として講義に臨むこと。

【基礎分野】　　【作業療法学科】

科目名	生物学						
担当講師	松政　正俊						
実務経験の概要							
履修年次	1	単位数	1	時間数	15	開講時期	前期
授業形態	講義						

授業概要

医学・理学療法学・作業療法学の基礎や臨床を深く学ぶためには、生物学の知識や考え方を身につけることが要求されます。本科目では、初学者に必要な知識を習得しつつ、さまざまな生物学的現象の関連や共通性、あるいは多様性を認識し、生命現象への理解を深めます。

学修到達目標

1．生命の特質を列挙できる
2．生物としてのヒトの特徴を列挙できる
3．骨の肉眼的および顕微鏡的なつくりを説明し、骨の役割を列挙できる
4．筋の肉眼的および顕微鏡的なつくりを説明し、骨の役割を列挙できる
5．四大栄養素の代謝を概説できる
6．遺伝情報の伝達のしくみとメンデル遺伝を説明できる
7．ホルモンと自律神経系による恒常性維持のしくみを例をあげて説明できる

授　業　計　画

第1回　生命とは？／生物としてのヒトの特徴
第2回　ヒトを含む動物の身体：発生と細胞・組織・器官
第3回　骨のつくりと役割
第4回　筋のつくりと役割
第5回　栄養と代謝：エネルギーと物質の流れ
第6回　遺伝情報の伝達と発現
第7回　恒常性維持のしくみ：ホルモンと自律神経系
第8回　環境とヒト

評価方法

知識、理解度、問題解決能力を主に定期試験（70%）で、態度、解析力、論理性等を主にレスポンスカード（30%）によって評価する。

教科書

「ワークブック ヒトの生物学」八杉貞雄 著　裳華房。適宜プリント等も教材として配布。

参考図書･文献

「ヒトを理解するための生物学」　八杉貞雄 著　裳華房

履修上の留意点及び講義時間外の学習(予習・復習)

初回は生命の特徴とは何か考えてくること。復習は各回１時間程度、予習は２回目以降３０分程度は必要。講義では質疑応答を多く取り入れます。ノートテイキングは必須。

【基礎分野】　　【作業療法学科】

科目名	保健体育						
担当講師	作山　正美　　畠山　健						
実務経験の概要							
履修年次	1	単位数	2	時間数	60	開講時期	前・後期
授業形態	講義　実技　オムニバス						

授業概要

保健体育の授業は理論と実技に分かれる。理論では、運動・スポーツの持つ意義や効果、エネルギー供給機構、トレーニング、メタボリックシンドローム、その他について学び、運動処方作成へと結びつけていく。

実技では、文化としてのスポーツ活動の楽しさを体験する中で、協調性を養うとともに遵法精神の涵養をはかる。

学修到達目標

〇健康と運動・スポーツの関わりを理解する
〇安全で効果的な運動・スポーツの実践方法を理解する
〇運動・スポーツと肥満やメタボリックシンドロームとの関わりを理解する
〇健康づくりの運動処方を作成できる
〇実技をとおして生涯スポーツの獲得を目指すとともに遵法精神の涵養をはかる

授　業　計　画

（保健体育学　実技）

第1回	実技は以下の内容をローテンションで行う	畠山　健
第2回	①バレーボール	畠山　健
第3回	②バスケットボール	畠山　健
第4回	③バドミントン・卓球	畠山　健
第5回	④その他	畠山　健
第6回		畠山　健
第7回		畠山　健
第8回		畠山　健
第9回		畠山　健
第10回		畠山　健
第11回		畠山　健
第12回		畠山　健
第13回		畠山　健
第14回		畠山　健
第15回		畠山　健
（後期）		
第16回		畠山　健
第17回		畠山　健
第18回		畠山　健
第19回		畠山　健
第20回		畠山　健
第21回		畠山　健
第22回		畠山　健

第23回		畠山　健
（保健体育学　理論）		
第1回	運動・スポーツの意義および健康との関連性	作山　正美
第2回	運動・スポーツとエネルギー供給機構および骨格筋	作山　正美
第3回	運動・スポーツと酸素摂取および血液循環	作山　正美
第4回	運動・スポーツと体力およびトレーニング	作山　正美
第5回	運動・スポーツと疲労およびおよび休養	作山　正美
第6回	運動・スポーツと肥満およびメタボリックシンドローム	作山　正美
第7回	安全で効果的な健康・体力づくりおよび運動処方作成演習	作山　正美
第8回	運動・スポーツをめぐる諸問題（スポーツ外傷＆障害、ドーピング、他）	作山　正美

評価方法

記述試験とレポートおよび実技への取り組み度で評価する

教科書

授業時にプリントを配布する

参考図書･文献

履修上の留意点及び講義時間外の学習(予習・復習)

安全で効果的な授業を展開するために真摯な態度で取り組む。健康と運動・スポーツに関する報道や文献に触れるようにする。

【基礎分野】 【作業療法学科】

科目名	英語Ⅰ						
担当講師	Wang　Hui　Ling						
実務経験の概要							
履修年次	1	単位数	1	時間数	30	開講時期	前期
授業形態	講義						

授業概要

This course aims to help first-year students get used to English for medical situations using intermediate-level medical English found in the course textbook. The course will be conducted mostly in English, and the project report and written examination will also be in English only.

学修到達目標

1) Students would have learned and be able to remember many medical English words, phrases and sentences often used in medical situations in Japan.
2) Students would have read about different medical scenes and events that usually happen in a Japanese hospital setting and be able to understand the English conversations and phrases required in these situations.
3) Students would be able to apply these information learned into a group work project and be able to answer questions regarding these information in a written test.

授　業　計　画

第1回 Course introduction, Self-introduction exercise, *Coffee Break 1, Essay 1*.
第2回 *Unit 1: Meeting Patients*
第3回 *Unit 2: Taking a Medical History*
第4回 *Unit 3: Assessing Patients' Symptoms*
第5回 *Unit 4: Taking Vital Signs*
第6回 *Coffee Break 2, Essay 2, Body Parts: External, Body Parts: Internal*
第7回 *Unit 5: Taking a Specimen*
第8回 *Unit 6: Conducting Medical Examinations*
第9回 *Coffee Break 3, Essay 3*, Project details and preparation, confirmation of group members.
第10回 *Unit 7: Assessing Pain*
第11回 *Unit 8: Advising about Medication*
第12回 *Unit 9: Improving Patients' Mobility*
第13回 *Unit 10: Maintaining a Good Diet*
第14回 *Unit 11: Caring for Inpatients*（Deadline for project submission）
第15回 *Unit 12: Coping with Emergencies*

評価方法

（1）　プロジェクト （50%）（2）　期末試験（ 記述 ・ 選択 ）（50%）

教科書

Caring for People (Authors: Michiko Mayuzumi, Tamiko Miyatsu & Philip Hinder)
(Publisher: Cengage Learning)

参考図書･文献

取り上げるテーマに関連する図書･文献については、必要であれば都度紹介をします。

履修上の留意点及び講義時間外の学習(予習・復習)

Students should refer to the lecture plan above closely, revise the course textbook before and after every class, and listen to the downloadable audio in their own time where possible. Students should work with their coursemates, check their own understanding of the English lessons and ask questions whenever necessary.

【基礎分野】 【作業療法学科】

科目名	英語 II						
担当講師	Wang　Hui　Ling						
実務経験の概要							
履修年次	1	単位数	1	時間数	30	開講時期	後期
授業形態	講義						

授業概要

This is a four-skills course focusing on listening and speaking skills. Students will be led to read about the views of others, reflect on their personal views, and then communicate their views to other coursemates via mainly listening and speaking. Students will do a lot of discussions via group and pair work, and give a lot of speaking presentations in class. Students will also practice their writing skills by transcribing their speaking into short written paragraphs. This course will be given mostly in English.

学修到達目標

1) Students would have learned some common views and opinions regarding topics used in the textbook and would be able to say out what these common views and opinions are.
2) They would be able to express their views about the topics via short presentations individually or in pairs or groups.
3) They would be able to write out their views in a given amount of time in the writing test.

授　業　計　画

第1回	Course introduction, Review of Sem 1 project and exam, feedback writing exercise
第2回	Presentation of feedback, *Unit 1: Introducing Myself*
第3回	Speech Presentations of Unit 1, *Unit 2: My Daily Routine*
第4回	Speech Presentations of Unit 2, *Unit 3: My Family*
第5回	Speech Presentations of Unit 3, *Unit 4: The Pros and Cons*
第6回	Speech Presentations of Unit 4, *Unit 5: My Hobby*
第7回	Speech Presentations of Unit 5, *Unit 6: An Ideal Robot*
第8回	Speech Presentations of Unit 6, *Unit 7: Who Inspires You?*
第9回	Speech Presentations of Unit 7, *Unit 8: An Odd Experience*
第10回	Speech Presentations of Unit 8, *Unit 9: The Best Sport*
第11回	Speech Presentations of Unit 9, *Unit 10: A Dream City*
第12回	Speech Presentations of Unit 10, *Unit 11: Happiness*
第13回	Speech Presentations of Unit 11, *Unit 12: How I Relieve Stress*
第14回	Speech Presentations of Unit 12, *Bonus Unit: A Love of Travel*
第15回	Speech Presentations of Bonus Unit, more Speech Presentations (if needed), Review and practice for written test

評価方法

（1）講義中90秒スピーチ４つとサプライズリスニングテスト１つ以上 （50%）（2）期末試験（ 記述 ）（50%）

教科書

Speaking for Presentations 1 (Author: Liana Robinson) (Publisher: Seed Learning)

参考図書･文献

取り上げるテーマに関連する図書･文献については、必要であれば都度紹介をします。

履修上の留意点及び講義時間外の学習(予習・復習)

Before every class, students should read the units that are scheduled in the lecture plan above, check up on vocabulary and grammar and think about their personal opinions regarding the topics.
After every lesson, students should revise the course textbook, listen to and watch the downloadable audio and videos in their own time where possible. They should prepare their presentations well enough to speak in front of all their coursemates.